

難病法の施行に伴う特定医療費の支給 に係る経過措置について

※出典：厚生科学審議会疾病対策部会 第59回難病対策委員会 資料（一部改編）

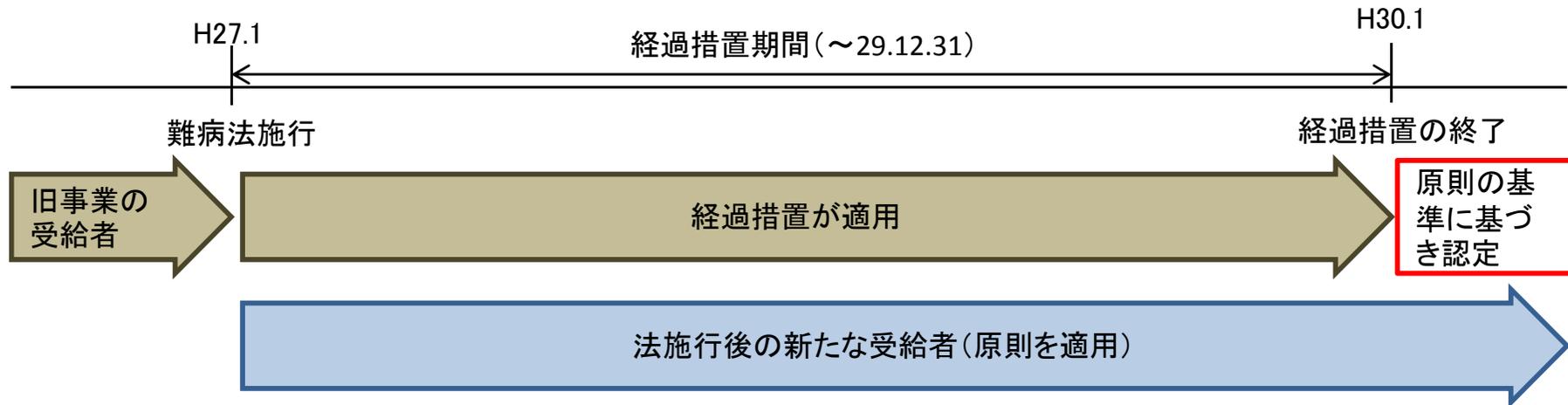
難病法の施行に伴う特定医療費の支給 に係る経過措置について

難病法の施行に伴う特定医療費の支給に係る経過措置について

1. 経過措置の内容

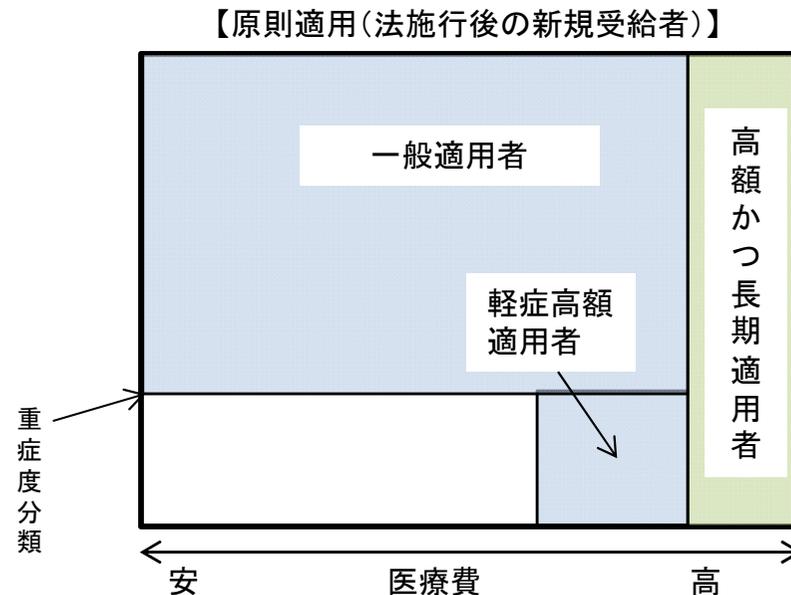
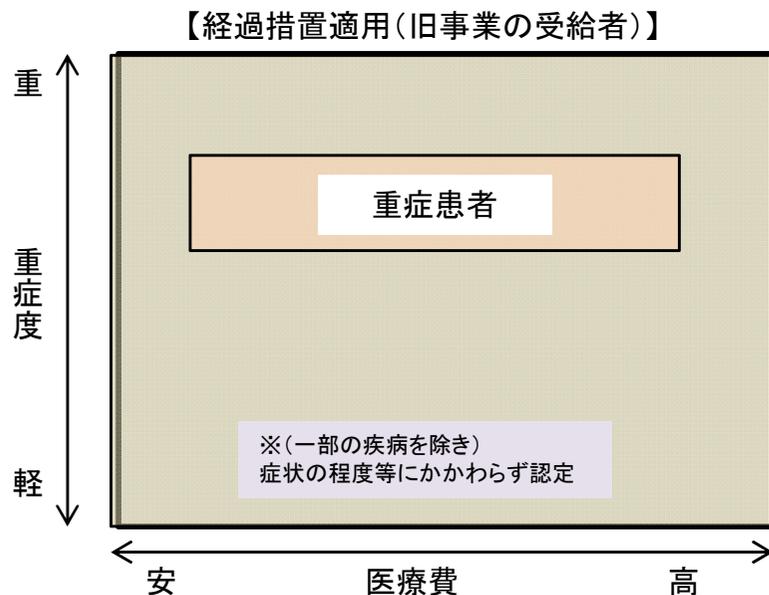
難病法施行(平成27年1月1日)前の特定疾患治療研究事業により医療費助成を受けていた者であって、法施行後も継続して医療費助成を受けている者に対して、平成29年12月31日までの3年間、以下の経過措置を講じている。

- ・支給認定に当たり重症度を考慮しない(軽症者であっても支給認定を行う)。
- ・自己負担限度額(月額)が原則(法施行後の新規認定者)より軽減。
- ・入院時の食費自己負担が原則より軽減。



2. 経過措置適用と原則適用の違い(イメージ)

※あみかけ部分が支給対象



○「軽症高額」とは、月ごとの医療費総額が33,330円を超える月が年間3回以上ある者

○「高額かつ長期」とは、月ごとの医療費総額が5万円を超える月が年間6回以上ある者

○「重症患者」とは、特定疾患治療研究事業(旧事業)の重症患者認定基準に該当する者

難病に係る医療費助成の制度(経過措置期間終了前)

【ポイント】

- 自己負担の割合：3割⇒2割
- 自己負担の限度額（月額）：
 - ・ 症状が変動し入退院を繰り返す等の難病の特性に配慮し、外来・入院の区別を設定しない。
 - ・ 受診した複数の医療機関等（※1）の自己負担をすべて合算した上で自己負担限度額を適用。
- ※1 薬局での保険調剤及び医療保険における訪問看護ステーションが行う訪問看護を含む。
- 入院時の標準的な食事療養等に係る負担：患者負担。
- 軽症高額該当者：軽症者であっても高額な医療（※2）を継続することが必要な者は、医療費助成の対象とする。
※2 月ごとの医療費総額が33,330円を超える月が年間3回以上ある場合とする。
- 所得を把握する単位：医療保険における世帯。
- 所得を把握する基準：市町村民税（所得割）の課税額。
- 同一世帯内に複数の対象患者がいる場合：世帯内の対象患者の人数で負担限度額を按分。
- 難病療養継続者：経過措置（H29.12.31まで）を設ける。

☆医療費助成における自己負担上限額(月額)

(単位:円)

階層区分	階層区分の基準 (()内の数字は、夫婦2人世帯の場合における年収の目安)		自己負担限度額(患者負担割合:2割、外来+入院)					
			原則			難病療養継続者(H29.12.31まで)		
			一般	高額かつ長期(※)	人工呼吸器等装着者	一般	重症患者	人工呼吸器等装着者
生活保護	—		0	0	0	0	0	0
低所得Ⅰ	市町村民税 非課税 (世帯)	(本人年収～80万円)	2,500	2,500	1,000	2,500	2,500	1,000
低所得Ⅱ		(本人年収80万円超～)	5,000	5,000		5,000		
一般所得Ⅰ	市町村民税 課税以上7.1万円未満 (約160万円～約370万円)		10,000	5,000		5,000	5,000	
一般所得Ⅱ	市町村民税 7.1万円以上25.1万円未満 (約370万円～約810万円)		20,000	10,000		10,000		
上位所得	市町村民税25.1万円以上 (約810万円～)		30,000	20,000		20,000		
入院時の食費			全額自己負担			1/2自己負担		

※「高額かつ長期」とは、月ごとの医療費総額が5万円を超える月が年間6回以上ある者（例えば医療保険の2割負担の場合、医療費の自己負担が1万円を超える月が年間6回以上）。

経過措置終了後の特定医療費の 支給認定の状況

経過措置終了後の特定医療費の支給認定の状況

経過措置終了後の認定状況

H29.12.31時点	約71.7万人・・・経過措置適用者
H30.1.1時点	
引き続き認定	約57.0万人(79.6%)
〔うち重症度分類を満たすとして認定	約44.0万人(61.3%)
〔うち軽症高額該当で認定	約13.1万人(18.2%)
不認定	約 8.6万人(11.9%)
保留中	約 0.0万人(0.0%)
申請なし・不明	約 6.1万人(8.5%)

※上記の数値は、平成30年10月1日現在。

※上記の集計は、各都道府県における調査結果を合算したものである。

※集計時期等、都道府県によって集計方法が異なる。

※()内の%は、平成29年12月31日時点に対するものである。

※上記の数値は、それぞれ四捨五入による数値であるため、各人数の合計及び割合は総数と一致しない。

※結果が最下位の桁の1に達しない場合は、0.0としている。

※都道府県の事務処理の関係上、平成30年1月1日時点で「不認定」となった者であっても、その後、「軽症高額該当で認定」となった者がいる場合がある。

※申請の取扱いは、都道府県によって異なる。(都道府県によっては、通常の更新申請と同様に、経過措置適用者を含む全受給者に更新申請を求めている場合がある。)

経過措置終了後の特定医療費の支給認定の状況（都道府県別）

(単位：人)

都道府県名	平成29年12月31日時点経過措置適用者数	経過措置終了後の支給認定状況											
		うち重症度分類を満たすとして認定		うち軽症高額該当で認定		引き続き認定		不認定		保留中		申請なし・不明	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
北海道	38,983	23,917	61.4%	7,529	19.3%	31,446	80.7%	3,833	9.8%	0	0.0%	3,704	9.5%
青森県	8,117	5,230	64.4%	1,040	12.8%	6,270	77.2%	1,038	12.8%	0	0.0%	809	10.0%
岩手県	7,926	5,612	70.8%	753	9.5%	6,365	80.3%	920	11.6%	0	0.0%	641	8.1%
宮城県	13,369	9,271	69.3%	2,226	16.7%	11,497	86.0%	1,561	11.7%	0	0.0%	311	2.3%
秋田県	6,264	4,904	78.3%	362	5.8%	5,266	84.1%	841	13.4%	0	0.0%	157	2.5%
山形県	6,035	3,811	63.1%	685	11.4%	4,496	74.5%	389	6.4%	0	0.0%	1,150	19.1%
福島県	11,488	7,311	63.6%	1,513	13.2%	8,824	76.8%	1,579	13.7%	2	0.0%	1,083	9.4%
茨城県	11,889	7,479	62.9%	2,089	17.6%	9,568	80.5%	1,107	9.3%	10	0.1%	1,204	10.1%
栃木県	10,591	6,343	59.9%	1,666	15.7%	8,009	75.6%	1,377	13.0%	0	0.0%	1,205	11.4%
群馬県	10,682	7,290	68.2%	1,489	13.9%	8,779	82.2%	1,074	10.1%	2	0.0%	827	7.7%
埼玉県	35,498	23,539	66.3%	5,196	14.6%	28,735	80.9%	2,082	5.9%	0	0.0%	4,681	13.2%
千葉県	33,930	21,003	61.9%	5,994	17.7%	26,997	79.6%	4,064	12.0%	0	0.0%	2,869	8.5%
東京都	64,448	42,552	66.0%	12,628	19.6%	55,180	85.6%	7,920	12.3%	2	0.0%	1,346	2.1%
神奈川県	47,413	28,719	60.6%	7,242	15.3%	35,961	75.8%	6,404	13.5%	2	0.0%	5,046	10.6%
新潟県	14,718	9,126	62.0%	2,506	17.0%	11,632	79.0%	2,004	13.6%	0	0.0%	1,082	7.4%
富山県	6,764	4,040	59.7%	1,109	16.4%	5,149	76.1%	903	13.4%	0	0.0%	712	10.5%
石川県	6,977	4,587	65.7%	1,050	15.0%	5,637	80.8%	784	11.2%	0	0.0%	556	8.0%
福井県	4,556	3,120	68.5%	520	11.4%	3,640	79.9%	344	7.6%	0	0.0%	572	12.6%
山梨県	3,388	2,144	63.3%	457	13.5%	2,601	76.8%	571	16.9%	0	0.0%	216	6.4%
長野県	12,158	7,755	63.8%	1,742	14.3%	9,497	78.1%	1,483	12.2%	0	0.0%	1,178	9.7%
岐阜県	10,336	5,737	55.5%	1,762	17.0%	7,499	72.6%	1,952	18.9%	0	0.0%	885	8.6%
静岡県	20,989	13,413	63.9%	2,492	11.9%	15,905	75.8%	2,696	12.8%	3	0.0%	2,385	11.4%
愛知県	35,021	9,575	27.3%	17,027	48.6%	26,602	76.0%	3,820	10.9%	36	0.1%	4,563	13.0%
三重県	10,448	7,003	67.0%	1,797	17.2%	8,800	84.2%	1,648	15.8%	-	-	-	-
滋賀県	7,911	4,764	60.2%	1,455	18.4%	6,219	78.6%	914	11.6%	142	1.8%	636	8.0%
京都府	15,913	9,980	62.7%	2,495	15.7%	12,475	78.4%	2,362	14.8%	0	0.0%	1,076	6.8%
大阪府	52,730	32,942	62.5%	10,074	19.1%	43,016	81.6%	5,762	10.9%	0	0.0%	3,952	7.5%
兵庫県	29,716	18,499	62.3%	5,479	18.4%	23,978	80.7%	5,738	19.3%	0	0.0%	-	-
奈良県	8,908	5,970	67.0%	1,172	13.2%	7,142	80.2%	1,110	12.5%	0	0.0%	656	7.4%
和歌山県	6,116	4,043	66.1%	937	15.3%	4,980	81.4%	681	11.1%	0	0.0%	455	7.4%
鳥取県	3,458	2,284	66.0%	438	12.7%	2,722	78.7%	425	12.3%	0	0.0%	311	9.0%
島根県	4,885	2,899	59.3%	725	14.8%	3,624	74.2%	449	9.2%	0	0.0%	812	16.6%
岡山県	13,444	8,235	61.3%	1,923	14.3%	10,158	75.6%	1,014	7.5%	0	0.0%	2,272	16.9%
広島県	16,503	10,047	60.9%	2,706	16.4%	12,753	77.3%	2,243	13.6%	4	0.0%	1,503	9.1%
山口県	9,778	3,503	35.8%	4,392	44.9%	7,895	80.7%	1,037	10.6%	0	0.0%	846	8.7%
徳島県	4,851	3,564	73.5%	523	10.8%	4,087	84.3%	530	10.9%	0	0.0%	234	4.8%
香川県	6,502	4,535	69.7%	729	11.2%	5,264	81.0%	715	11.0%	0	0.0%	523	8.0%
愛媛県	8,822	5,683	64.4%	1,347	15.3%	7,030	79.7%	1,188	13.5%	0	0.0%	604	6.8%
高知県	4,934	3,012	61.0%	403	8.2%	3,415	69.2%	758	15.4%	0	0.0%	761	15.4%
福岡県	29,975	20,111	67.1%	3,384	11.3%	23,495	78.4%	2,448	8.2%	7	0.0%	4,025	13.4%
佐賀県	5,087	3,199	62.9%	715	14.1%	3,914	76.9%	617	12.1%	1	0.0%	555	10.9%
長崎県	10,619	7,644	72.0%	924	8.7%	8,568	80.7%	1,570	14.8%	0	0.0%	481	4.5%
熊本県	11,797	7,968	67.5%	1,423	12.1%	9,391	79.6%	1,565	13.3%	0	0.0%	841	7.1%
大分県	7,882	5,244	66.5%	891	11.3%	6,135	77.8%	869	11.0%	0	0.0%	878	11.1%
宮崎県	6,960	4,638	66.6%	696	10.0%	5,334	76.6%	1,004	14.4%	0	0.0%	622	8.9%
鹿児島県	11,137	3,473	31.2%	5,330	47.9%	8,803	79.0%	1,594	14.3%	0	0.0%	740	6.6%
沖縄県	6,908	3,953	57.2%	1,742	25.2%	5,695	82.4%	580	8.4%	0	0.0%	633	9.2%
合計	716,824	439,671	61.3%	130,777	18.2%	570,448	79.6%	85,567	11.9%	211	0.0%	60,598	8.5%

※上記の数値は、平成30年10月1日現在

※上記の集計は、各都道府県における調査結果を合算したものである。

※集計時期等、都道府県によって集計方法が異なる。

※％は、平成29年12月31日時点に対するものである。

※掲載の数値は、小数点第二桁を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合もある。

※結果が最下位の桁の1に達しない場合は、0.0としている。

※表記が「-」となっている箇所の理由は以下のとおり

・経過措置終了直前の更新時期において、経過措置終了後の期間をまとめて支給認定の審査を実施していることから、平成30年1月1日時点において、「保留中」及び「更新申請がなされていない」者は存在しえないため（三重県）

・支給認定がされなかった者を全て「不認定」に計上しているため（兵庫県）

※都道府県の事務処理の関係上、平成30年1月1日時点で「不認定」となった者であっても、その後、「軽症高額該当で認定」となった者がいる場合がある。

※申請の取扱いは、都道府県によって異なる。（都道府県によっては、通常の更新申請と同様に、経過措置適用者を含む全受給者に更新申請を求めている場合がある。）

経過措置終了後の特定医療費の支給認定の状況(疾患別)

(単位:人)

疾患名	平成29年 12月31日 時点経過 措置適用 者数	経過措置終了後の支給認定状況												
		うち重症度分類を満 たすとして認定		うち軽症高額該当 認定		引き続き認定		不認定		保留中		申請なし・不明		
番号	総計	716,964	439,775	61.3%	130,823	18.2%	570,598	79.6%	85,545	11.9%	211	0.0%	60,610	8.5%
001	ベーチェット病	16,676	10,207	61.2%	2,105	12.6%	12,312	73.8%	2,682	16.1%	4	0	1,678	10.1%
002	多発性硬化症	16,841	7,774	46.2%	5,944	35.3%	13,718	81.5%	2,016	12.0%	12	0	1,095	6.5%
003	重症筋無力症	18,403	15,483	84.1%	1,369	7.4%	16,852	91.6%	497	2.7%	6	0	1,048	5.7%
004	全身性エリテマトーデス	55,726	41,242	74.0%	8,893	16.0%	50,135	90.0%	3,063	5.5%	3	0	2,525	4.5%
006	再生不良性貧血	8,293	2,320	28.0%	3,081	37.2%	5,401	65.1%	2,032	24.5%	3	0	857	10.3%
007	サルコイドーシス	21,004	8,731	41.6%	2,749	13.1%	11,480	54.7%	6,730	32.0%	21	0	2,773	13.2%
008	筋萎縮性側索硬化症	5,341	4,613	86.4%	300	5.6%	4,913	92.0%	49	0.9%	0	0	379	7.1%
009	強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	42,680	30,883	72.4%	5,767	13.5%	36,650	85.9%	3,257	7.6%	2	0	2,771	6.5%
010	特発性血小板減少性紫斑病	18,911	8,184	43.3%	3,160	16.7%	11,344	60.0%	5,179	27.4%	10	0	2,378	12.6%
011	結節性動脈周囲炎	8,735	3,607	41.3%	3,240	37.1%	6,847	78.4%	1,184	13.6%	0	0	704	8.1%
012	潰瘍性大腸炎	142,823	53,827	37.7%	44,925	31.5%	98,752	69.1%	27,145	19.0%	18	0	16,908	11.8%
013	大動脈炎症候群	5,360	2,274	42.4%	1,482	27.6%	3,756	70.1%	1,205	22.5%	9	0	390	7.3%
014	ビュルガー病	5,510	1,182	21.5%	1,620	29.4%	2,802	50.9%	2,141	38.9%	0	0	567	10.3%
015	天疱瘡	4,652	926	19.9%	1,360	29.2%	2,286	49.1%	1,761	37.9%	5	0	600	12.9%
016	脊髄小脳変性症	21,792	18,190	83.5%	2,074	9.5%	20,264	93.0%	438	2.0%	1	0	1,089	5.0%
017	クローン病	36,519	18,447	50.5%	13,967	38.2%	32,414	88.8%	2,350	6.4%	2	0	1,753	4.8%
019	悪性関節リウマチ	5,108	2,422	47.4%	2,113	41.4%	4,535	88.8%	284	5.6%	0	0	289	5.7%
020	パーキンソン病関連疾患 (進行性核上麻痺、大脳皮質基底核変性 症、パーキンソン病)	91,937	79,128	86.1%	5,675	6.2%	84,803	92.2%	779	0.8%	1	0	6,354	6.9%
021	アミロイドーシス	1,610	1,238	76.9%	155	9.6%	1,393	86.5%	103	6.4%	0	0	114	7.1%
022	後縦靭帯骨化症	27,236	18,528	68.0%	1,775	6.5%	20,303	74.5%	3,551	13.0%	27	0	3,355	12.3%
023	ハンチントン病	639	567	88.7%	33	5.2%	600	93.9%	10	1.6%	0	0	29	4.5%
024	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	14,706	7,844	53.3%	1,060	7.2%	8,904	60.5%	4,256	28.9%	57	0	1,489	10.1%
025	ウェゲナー肉芽腫症	1,985	847	42.7%	769	38.7%	1,616	81.4%	261	13.1%	0	0	108	5.4%
026	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	23,011	10,973	47.7%	5,271	22.9%	16,244	70.6%	5,134	22.3%	16	0	1,617	7.0%
027	多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オ リーブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症 候群)	7,543	6,276	83.2%	554	7.3%	6,830	90.5%	101	1.3%	0	0	612	8.1%
028	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	275	237	86.2%	14	5.1%	251	91.3%	7	2.5%	0	0	17	6.2%
029	膿疱性乾癬	1,673	399	23.8%	901	53.9%	1,300	77.7%	258	15.4%	0	0	115	6.9%
030	広範脊柱管狭窄症	4,106	3,093	75.3%	260	6.3%	3,353	81.7%	278	6.8%	1	0	474	11.5%
031	原発性胆汁性肝硬変	17,908	11,477	64.1%	1,822	10.2%	13,299	74.3%	3,216	18.0%	2	0	1,391	7.8%
033	特発性大腿骨頭壊死症	11,902	9,267	77.9%	549	4.6%	9,816	82.5%	781	6.6%	1	0	1,304	11.0%
034	混合性結合組織病	9,501	6,589	69.4%	1,482	15.6%	8,071	84.9%	868	9.1%	0	0	562	5.9%
035	原発性免疫不全症候群	1,331	1,077	80.9%	125	9.4%	1,202	90.3%	58	4.4%	0	0	71	5.3%
036	特発性間質性肺炎	3,600	2,094	58.2%	850	23.6%	2,944	81.8%	232	6.4%	0	0	424	11.8%
037	網膜色素変性症	22,358	20,192	90.3%	231	1.0%	20,423	91.3%	305	1.4%	0	0	1,630	7.3%
038	プリオン病	136	108	79.4%	7	5.1%	115	84.6%	0	0.0%	0	0	21	15.4%
039	肺動脈性高血圧症	2,174	1,762	81.0%	271	12.5%	2,033	93.5%	32	1.5%	0	0	109	5.0%
040	神経線維腫症	3,245	2,640	81.4%	141	4.3%	2,781	85.7%	250	7.7%	1	0	213	6.6%
041	亜急性硬化性全脳炎	63	57	90.5%	4	6.3%	61	96.8%	0	0.0%	0	0	2	3.2%
042	バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	220	89	40.5%	68	30.9%	157	71.4%	45	20.5%	1	0	17	7.7%
043	慢性血栓塞栓性高血圧症	2,165	1,719	79.4%	267	12.3%	1,986	91.7%	90	4.2%	0	0	89	4.1%
044	ライソゾーム病(ファブリー(Fabry)病含む)	925	761	82.3%	121	13.1%	882	95.4%	1	0.1%	0	0	42	4.5%
045	副腎白質ジストロフィー	175	156	89.1%	13	7.4%	169	96.6%	1	0.6%	0	0	5	2.9%
046	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	143	113	79.0%	22	15.4%	135	94.4%	3	2.1%	0	0	5	3.5%
047	脊髄性筋萎縮症	648	548	84.6%	31	4.8%	579	89.4%	18	2.8%	0	0	51	7.9%
048	球脊髄性筋萎縮症	997	767	76.9%	72	7.2%	839	84.2%	111	11.1%	1	0	46	4.6%
049	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3,647	1,662	45.6%	856	23.5%	2,518	69.0%	788	21.6%	2	0	339	9.3%
050	肥大型心筋症	3,454	2,150	62.2%	551	16.0%	2,701	78.2%	378	10.9%	1	0	374	10.8%
051	拘束型心筋症	29	22	75.9%	3	10.3%	25	86.2%	1	3.4%	0	0	3	10.3%
052	ミトコンドリア病	1,157	671	58.0%	291	25.2%	962	83.1%	136	11.8%	0	0	59	5.1%
053	リンパ管筋腫症(LAM)	622	453	72.8%	55	8.8%	508	81.7%	66	10.6%	1	0	47	7.6%
054	重症多形滲出性紅斑(急性期)	44	25	56.8%	4	9.1%	29	65.9%	6	13.6%	0	0	9	20.5%
055	黄色靭帯骨化症	2,894	1,926	66.6%	200	6.9%	2,126	73.5%	375	13.0%	1	0	392	13.5%
056	間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	18,531	14,008	75.6%	2,171	11.7%	16,179	87.3%	1,033	5.6%	2	0	1,317	7.1%

※上記の数値は、平成30年10月1日現在

※上記の集計は、各都道府県における調査結果を合算したものである。

※集計時期等、都道府県によって集計方法が異なる。

※%は、平成29年12月31日時点に対するものである。

※掲載の数値は、小数点第二桁を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合もある。

※結果が最下位の桁の1に達しない場合は、0.0としている。

※同一者が複数の疾病で認定されている場合などがあるため、資料2.2の合計欄と各項目の合計とは一致しない。

※都道府県の事務処理の関係上、平成30年1月1日時点で「不認定」となった者であっても、その後、「軽症高額該当で認定」となった者がいる場合がある。

※申請の取扱いは、都道府県によって異なる。(都道府県によっては、通常の更新申請と同様に、経過措置適用者を含む全受給者に更新申請を求めている場合がある。)